

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月28日

上場会社名 細谷火工株式会社  
 コード番号 4274 URL <http://www.hosoya-pyro.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

(氏名) 島井 武四郎  
 (氏名) 細谷 譲二

TEL 042-558-5111

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	944	—	103	—	98	—	50	—
20年3月期第3四半期	1,051	17.8	101	53.5	97	48.1	56	50.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	12.67	—
20年3月期第3四半期	14.03	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	3,019	—	1,484	—	49.2	—	369.96	—
20年3月期	2,736	—	1,469	—	53.7	—	365.97	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 一百万円 20年3月期 一百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	6.00	6.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,520	△4.7	158	△1.9	151	△2.1	82	△12.2	20.43

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 4,032,000株 20年3月期 4,032,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 20,436株 20年3月期 17,881株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 4,012,755株 20年3月期第3四半期 4,015,298株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 上記の業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断した一定の情報に基づいたものであり、実際の業績見通しとは異なることがあり得ます。詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】 3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

わが国経済は、米国の住宅ローン問題に端を発した金融危機が实体经济に波及し、世界景気が過去に例のない調整局面に直面し、わが国もその影響を受けました。

このような状況の中、当第3四半期における当社の売上高は、防衛省向け製品の受注減により、売上高が伸展しない要因となりました。

損益面では、製品単価の改善が利益に寄与した第2四半期までの状況と異なり、第3四半期に入り前述の売上高の減少と固定費負担によって利益率水準が低下いたしました。蓄積した利益金額の維持確保に注力いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高944百万円、営業利益103百万円、経常利益98百万円、四半期純利益50百万円を計上いたしました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 当第3四半期末の財政状態

財政状態につきましては、総資産3,019百万円(前事業年度末比283百万円増)、負債の部合計1,535百万円(前事業年度末比268百万円増)となり、純資産の部合計は1,484百万円(前事業年度末比15百万円増)となりました。

(2) 当第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況

営業活動による資金は、税引前第3四半期純利益86百万円、仕入債務の増加額68百万円などの資金流入に対して、たな卸資産の増加額240百万円、法人税等の支払額86百万円などの流出で167百万円の資金流出となりました。

投資活動による資金は、有形固定資産の取得206百万円、貸付金による資金の減少59百万円などによって、261百万円の資金流出となりました。

財務活動による資金は、借入金による資金の増加330百万円ありましたが、配当金の支払23百万円とその他の支出24百万円により、281百万円の資金流入となりました。

この結果、当第3四半期における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて146百万円減少して501百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、前回発表(平成20年10月28日付「平成21年3月期第2四半期決算短信(非連結)」)の業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する事業年度に係る四半期財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

5.【四半期財務諸表】  
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	501,600	648,406
受取手形及び売掛金(純額)	166,025	179,956
製品	5,158	1,848
原材料	139,994	85,503
仕掛品	313,397	130,219
その他	85,081	30,090
<b>流動資産合計</b>	<b>1,211,256</b>	<b>1,076,024</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	433,979	453,520
土地	1,023,935	731,326
その他	145,609	153,405
<b>有形固定資産合計</b>	<b>1,603,525</b>	<b>1,338,253</b>
無形固定資産	56,874	162,442
投資その他の資産	147,842	159,451
<b>固定資産合計</b>	<b>1,808,242</b>	<b>1,660,147</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,019,499</b>	<b>2,736,172</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	99,653	31,295
短期借入金	759,000	478,900
未払法人税等	475	56,663
引当金	17,109	30,032
その他	88,627	141,507
<b>流動負債合計</b>	<b>964,864</b>	<b>738,399</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	150,000	100,000
退職給付引当金	38,501	35,500
役員退職慰労引当金	85,665	79,506
製品保証引当金	7,531	7,528
その他	288,824	306,200
<b>固定負債合計</b>	<b>570,522</b>	<b>528,736</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,535,387</b>	<b>1,267,135</b>

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	201,600	201,600
資本剰余金	18,121	18,121
利益剰余金		
別途積立金	1,150,000	1,080,000
その他利益剰余金	120,579	163,806
利益剰余金合計	1,270,579	1,243,806
自己株式	9,962	8,937
株主資本合計	1,480,339	1,454,590
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,772	14,446
評価・換算差額等合計	3,772	14,446
純資産合計	1,484,111	1,469,036
負債純資産合計	3,019,499	2,736,172

(2)【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	944,359
売上原価	671,224
売上総利益	273,135
販売費及び一般管理費	169,167
営業利益	103,967
営業外収益	
受取配当金	2,028
雑収入	1,887
その他	352
営業外収益合計	4,269
営業外費用	
支払利息	9,701
その他	30
営業外費用合計	9,731
経常利益	98,504
特別利益	25
特別損失	
葬儀費用	10,352
役員退職慰労金	1,000
固定資産除却損	584
特別損失合計	11,937
税引前四半期純利益	86,593
法人税、住民税及び事業税	30,091
法人税等調整額	5,643
法人税等合計	35,735
四半期純利益	50,857

## 【第3四半期会計期間】

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	300,798
売上原価	227,493
売上総利益	73,305
販売費及び一般管理費	56,068
営業利益	17,236
営業外収益	
受取配当金	625
その他	432
営業外収益	1,057
営業外費用	
支払利息	3,845
その他	27
営業外費用合計	3,872
経常利益	14,421
特別利益	67
特別損失	
葬儀費用	10,352
その他	236
特別損失合計	10,588
税引前四半期純利益	3,765
法人税、住民税及び事業税	5,293
法人税等調整額	6,792
法人税等合計	1,499
四半期純利益	2,266

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	86,593
減価償却費	53,520
貸倒引当金の増減額(は減少)	350
受取利息及び受取配当金	2,381
支払利息	9,701
売上債権の増減額(は増加)	14,810
たな卸資産の増減額(は増加)	240,977
仕入債務の増減額(は減少)	68,357
その他	64,592
小計	74,618
利息及び配当金の受取額	2,318
受取保険金	1,124
利息の支払額	10,284
法人税等の支払額	86,280
営業活動によるキャッシュ・フロー	167,740
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	206,470
投資有価証券の取得による支出	480
投資有価証券の売却による収入	92
貸付けによる支出	60,000
貸付金の回収による収入	833
その他の収入	5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	261,025
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	600,000
短期借入金の返済による支出	370,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	99,900
自己株式の取得による支出	1,024
配当金の支払額	23,916
その他	23,198
財務活動によるキャッシュ・フロー	281,961
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	146,805
現金及び現金同等物の期首残高	648,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	501,600

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 追加情報の注記  
平成20年度の法人税法改正に伴い、当事業年度より機械装置については、耐用年数を変更して減価償却費を計上しております。  
これにより、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ2百万円減少しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 【参考】

## (要約) 前四半期損益計算書

(単位:千円)

科 目	前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金 額
売上高	1,051,999
売上原価	795,935
売上総利益	256,063
販売費及び一般管理費	154,747
営業利益	101,315
営業外収益	4,219
営業外費用	8,235
経常利益	97,299
特別利益	1,856
特別損失	1,198
税引前四半期純利益	97,957
法人税、住民税及び事業税	34,932
法人税等調整額	6,694
四半期純利益	56,330

## (要約) 前四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区 分	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期(当期)純利益	97,957
減価償却費	55,458
売上債権の増減額(増加額)	274,379
たな卸資産の増減額(増加額)	115,736
仕入債務の増減額(減少額)	31,920
法人税等の支払額	59,753
その他(減少額)	58,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	323,337
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	47,060
その他(減少額)	2,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,589
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額(減少額)	150,000
長期借入金の増減額(減少額)	65,373
配当金の支払額	24,028
その他(減少額)	24,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	167,247
現金及び現金同等物の増減額(減少額)	200,680
現金及び現金同等物の期首残高	494,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	293,947